

**上越 稲包山（イツツミヤマ）1597m・平標山（タイラツトヨウヤマ）1984m・苗場山2145m**

**2013年8月15日(金)～18日(日)**

**メンバー：Lふじ、井藤、内山、布田、磯部N（記）**

新潟県にある、国道17号を挟んで東西に位置する稲包山から平標山までのコースと苗場山に登ること、登山道を2時間歩いてたどり着く温泉宿・赤湯に泊まるという2つの目的で5人で出かける。

8月15日（木） 晴れのち雨

1日目は苗場プリンスホテルを横目に見つつ、林道を20分ほど走って、三国スキー場跡よりスタート。道標はあるが、マイナーなコースで人に会わない。



三国スキー場跡から出発



汗だくの稜線歩き

標高1600メートル内外の稜線を歩くので樹林を抜けると暑い。比較的なだらかなコースだが、いくつものアップダウンの繰り返しにかなり疲労がたまった頃、ようやく稲包山に到着。残念ながら水蒸気多く、展望は良くない。

2時頃より、大粒の雨が降り出し合羽を着て、汗と雨でぐっしょりになりながら本日の宿泊場所、三国峠にたどり着く。



干し物だらけの三国峠

<タイム> 三国スキー場跡(7:26)－稲包山(10:20～10:48)－三国峠(15:00)

8月16日（金） 晴れのち雨

三国峠の朝は気持ちよく晴れた。いきなり300m程登って三国岳を踏み、大源太山を越えて、美しく優しい山容の、花で有名な平標山へ向かう。今日も暑い。案の定、また11時半過ぎに雨が降り出し、雷も鳴り出した。雨の中、山頂を踏み、急いで下山。



優しい山谷の平標山が近い



小雨に煙る花畑をぬって



花盛りのシモツケソウ

車で移動後、さらに山道を2時間強歩いて雨と暗闇の中、赤湯にたどりつく。  
ハードな一日に疲れたが、露天風呂に浸かり、布団に寝られ幸せ。

<タイム> 三国峠(5:30)－三国岳(6:25)－大源太山(9:20)－平標山(12:05)－元橋駐車場(15:40)－小日橋ゲート(17:20)－赤湯(19:30)

8月17日(土) 晴れ

赤湯からしばらく沢岸を歩き100m程登り返して、後はずっと尾根伝いに赤倉山を目指す。  
急登が続いて疲れる道だ。熊笹は刈り払いされていて助かった。  
このコースもマイナーだが、最近は歩く人が増えているらしい。



赤湯温泉・・・ここに行くには登山道を2時間歩くしかない！



大学生の大きなパーティーで赤倉頂上は大にぎわい

赤倉山を越えると、下りとなだらかな登りの繰り返して縦走路が楽に歩けるようになる。



斜度が弱く、展望が効く笹の道を歩く



湿原の中、気分よく、るるんの木道歩き

やがて広大な湿原地帯に入ると木道が設置され、イワショウブ、キンコウカ、モウセンゴケ、ワタスゲなどの花々とたくさんの池塘が目を楽しませてくれる。山頂ヒュッテまでこの道が続く。

自炊の後、就寝。



山頂ヒュッテまであとわずか



笑顔もこぼれる自炊風景

<タイム> 赤湯(6:35)－赤倉山(11:20)－龍の峰(14:37)－苗場山頂ヒュッテ(16:00)

8月18日(日) 晴れ

まぶしい朝日を浴びながら歩き出す。神楽峰を越えるコースは歩く人も多く、花も多い。特に山頂から1時間ほどの雷清水辺りは色とりどりの花が咲いていた。



朝日の中、苗場山を下りる



タカネナデシコ

カッサ湖を眼下に見ながらの景色の良い道で、次々に登山者に出会う。  
時折、ごろごろ石になったり、木道になったりの道をゆっくり下り、和田小屋へ。



和田小屋まで来るとあと少し

さらに車道を20分歩いて町営駐車場へ着き、車の回収に向かった吉川、井藤の二人を待つ。充実の4日間が終わった。

<タイム> 山頂ヒュッテ(6:05)－雷清水(7:27)－和田小屋(10:55)－町営駐車場(11:20)

以上